

Q7. テストの開始・終了の時間を揃える必要があるのでは？

A7. ご指摘の通り、テストの公平性を確保するためには「テストの解答時間」を揃える必要があります。このことは、週単元テストに限らず、これまでの定期テスト等においても徹底していなくてはならない事項でした。

しかし現状は、テスターによって、チャイムと共に解答を始めるクラスとチャイムが鳴ってやっと配付を始めるクラスがあり、その対応の違いに、子供たちから不満の声が聞こえることもありました。

ただし、年に4回の定期テストであれば、10分間の休み時間を挟んだ後の「チャイムと同時に解答開始」をお願いしたいところですが、毎週2回・年間で50回以上の週単元テストにおいて、これを徹底することは難しいところだと考えます。

そこで、教務とも相談し、以前に提案した火・金曜日の「週単日課」の日程と内容の一部変更を提案します。変更のポイントは、以下の2点です。

- ① 5校時終了後、15分間の休み時間において「週単元テスト」を実施する
→ テストの解答時間「25分」をしっかりと確保する
- ② 「週単元テスト」のテスターで、帰りの会（連絡）を行うことも可能とする
→ 担任の負担軽減 & 下校時刻を早めに設定

	変更前	変更後（提案）	変更のポイント
5校時	13:35 ~ 14:25	13:35 ~ 14:25	
休み時間	14:25 ~ 14:35	14:25 ~ 14:40	5分前には入室しテスト配付
週単元テスト	14:35 ~ 15:00	14:40 ~ 15:05	チャイムで解答開始・終了
帰りの会	15:05 ~ 15:15	15:05 ~ 15:15	テスターで帰りの連絡も可

帰りの会の担当（担任 or テスター）については、学年で調整して計画的に進めてください。連絡事項を朝の会や給食時間に行う、担任をテスターを割り当てるなどで、効率的に対応することも可能であると考えます。

また、テスト時間を揃えると同時に、下校時間も揃えていきましょう。教室から出る時間は15:15以降とし、他のクラスの帰りの会（連絡）を妨害しないように声かけしていきましょう。

Q8. テスト返却等のための時間設定はありますか？

A8. 単元テストの解答・解説・返却のための時間については、統一した時間の設定はありませんので、これまでのテストと同じように、各教科の授業時間を使って対応をお願いします。

また、テストの返却等の方法については、教科の特性や各先生方がこれまで実践してきたものもあり、特に統一する必要はないかと考えています。

ただし、教科によって単元（テスト）の数も多いと思いますので、テスト明けの1時間の授業時間を全てテストの解答・解説・返却に充てることは、年間の時数を圧迫することにつながります。解答は各自で確認させる、解説する問題を絞る、授業の後半を次時の導入に充てる…などの工夫について、検討が必要かと思われます。

週単元テストの導入をきっかけにこれまでのテスト返却等の方法についても見直すチャンスかと思われます。新年度のスタートにおいて、新たな方法を生徒と確認することで、1年間をスムーズに進めることができると思います。教科会等でも内容を検討し、持続可能な取組となるように準備をよろしくをお願いします。

